

# 高専トピックス

## ▶ 仙台電波高専

### 全校上げての発達障害のある学生への支援体制を構築

仙台電波高専では、発達障害者支援法に基づく、発達障害のある学生に対する教育的支援体制構築の一環として、新たに「特別支援教育推進室」を設置しました。この推進室は、教務担当副校長、学生相談室長、学級担任等のスタッフによる支援グループを組織して、一定水準以上の学習能力を有しながら、自閉症・アスペルガー症候群・学習障害・注意欠陥多動性障害などの発達障害の状態に応じて学習、生活の両面から5年間の系統的・継続的支援を実践的に行い、障害者に対する高専教育の門戸の解放を行うとともに卒業後も社会人やエンジニアとして社会生活の場を得ることができることを目的としています。

同校では、関係教員に対する有識者による後援会や関係学会出席による研修実施のほか、全教員にガイドブックを配布するなどして全学的取り組みを進めているところです。

発達障害のある学生支援ガイドブック  
編者：独立行政法人国立特殊教育総合研究所→



## ▶ 徳山高専

### 地元商店街に徳山高専サテライト「高専夢広場」をつくって情報発信中!

徳山高専は徳山駅前商店街に「お店」を持っています。これは本校の教育、研究、文化活動に関する情報を発信することにより地域社会に貢献することを目的につくられた空間です。TMO徳山の店舗「ふれあいパーク街あい」内に設置され、企画は学生と教職員からなるサテライト運営委員会で検討し、TMOと協力しながら運営しています。

2003年11月のオープン以来、レギュラー企画として毎週金曜日は英語を話す機会を増やそうと英語科の教員が開く「いんぐりっしゅ☆る〜む」、水曜日には若手教職員を中心に「パソコン若葉教室」でお年寄りなどへの個別指導等、本校の学生や市民が気軽に参加できる企画を行ってきました。この他にも「留学生のふるさと展」や授業作品を展示して人気投票を実施するなど徳山高専の「今」を発信し、地域との交流活動を展開中です。



## ▶ 富山商船高専

### 富山商船生が富山の新名物を開発

将来を担う若者が、開発から販売までの過程を体験することで起業家精神を養ってもらうことを目的として富山県商工会議所が企画した「YEGフェア2005学店（がくてん）」に本校国際流通学科生が参加し、地元和菓子店の協力のもと、生地に地元の清酒や味噌を加えた和菓子「山焼き（どら焼き風和菓子）」を開発しました。

この商品は、富山県内の観光業界からも注目され、県内の宿泊施設団体が土産品などに採用することが決まり、庄川温泉郷及び宇奈月温泉郷でテスト販売を行い、評判をみながらほかの宿泊施設に拡大していくことになっております。

富山商船生が開発した「富山の新名物」の誕生です。

「YEGフェア2005学店（がくてん）」→



## ▶ 高松高専

### 世界初、模擬宇宙環境で宇宙材料アルミニウムのアーク溶接実験に成功

国際宇宙ステーション（2010年完成予定）の長期運用中の修理、月面基地建設や火星有人探査宇宙船建造の計画実現には宇宙溶接技術が必要になります。1992年に日本独自の安全な宇宙GHTA（Gas Hollow Tungsten Arc）溶接法を発明した高松高専宇宙溶接研究チームは、1998年11月に模擬宇宙環境でステンレス鋼溶接実験を成功させ、2006年3月には、（独）宇宙航空研究開発機構と（財）日本宇宙フォーラムの支援を受けて模擬宇宙環境でアルミニウム溶接実験を成功させました。2006年の主な実験目的は、模擬宇宙環境で溶接不良の原因になる被溶接物表面のアルミニウム酸化膜をパルス衝撃圧力によって粉砕除去する新技术を適用して、健全な溶接継手が製作できることの実証とアルミニウム溶接現象の解明です。今後の目標は、宇宙溶接技術の実用化を目指して国際宇宙ステーション「きぼう」暴露部で宇宙GHTA溶接実験を成功させることです。

